

やすらぎ通信

お盆号

日本の運命を変えたブツダの言葉

今年は戦後八十年という年回りで、新聞雑誌に特集号が組まれています。小生も昭和二十年生まれで、戦後生まれの八十歳になります。物資や食糧事情が最悪の状況で、今では考えられない状況でした。当時は戦争があったような報道も特に無く過ごしていました。年令を重ねるうちに色々の情報を耳にするようになり、特に広島、長崎の原爆は大変ショックな出来事でした。人類の平和や国家の安全、人権問題を真剣に考えるきっかけになったと思います。おそらく戦争についてはあまり触れないように国からの要請があったのかもしれませんが。

以前、1951年開かれたサンフランシスコ講和会議で世界の代表者の前で、スリランカの大蔵大臣の演説が賞讃の声の嵐で会場の窓ガラスが割れんばかりの大感動を呼び、日本の分割統治案が反古になった話を覚えているでしょうか？私はこの話を数年前に知り驚きました。このような話は当時のGHQからの命令があったかもしれません。特に日本の歴史の近代の教科書には正確性に乏しいと言われています。まだまだ日本が本当に独立を果たしているとは思えない節が多々あるように感じます。

その後ジャヤワルダナ大蔵大臣は大統領になりました。当寺大蔵大臣の頃、来日し、日本の国状、教育、宗教者と接見し、詳らかに観察研究し、日本への信頼憧憬から尊敬へと、変わっていったと述べています。特に驚いたのはあの小国の日本が大国のロシアに戦勝したことでしたと語っています。これからは、アジアの代表としてリーダーシップを担ってもらわねばならないと確信したそうです。スリランカは仏教国で有名です。昔のインドの影響でスリランカも仏教国となりました。最もお釈迦様の教えに近い教えが今でも残っています。その演説の内容がどうして感動を呼んだのか調べてみました。

法句経第五番に「人はただ愛によつてのみ憎しみを超えられる。人は憎しみによつては憎しみを超えられない。」とあります。このブツダの言葉が聴衆の心に感動を呼んだのです。皆、「戦争はやりたくない。争いごとはしたくない。平和な世の中でありたい。」と思っている聴衆の思いへの答えにブツダの言葉が心をつかんだのだと思います。その時、用意されていた日本国分断占領案は議論されずに消えて無くなってしまったのです。もしも、演説や釈迦の言葉が無かったら、日本は分断されていたかもしれせん。日本国民は大統領とお釈迦様に対して感謝の念を持ち続けなければならないと思います。会議に代表として出席した吉田茂首相は「未来永劫スリランカに感謝しなくてはならない」と語っています。

三明寺住職 大嶽正泰 合掌

ワット・パクナム(寺院)表敬訪問と戦後80周年慰霊法要：タイ 2/26～3/2

大本山總持寺紫雲台祝下と共に瑩山禪師700回大遠忌を記念して



石附祝下と
夫婦での海外は新婚旅行以来です



カンチャナブリ(ミャンマー国境)慰霊碑で
約1か月後タイ・ミャンマーの地震がありました



パクナム寺院には石附祝下が若い頃1年程
ご修行されていました

【檀信徒行事】

六月

○岡田家ご法事

○子ども食堂

○道了講

○静岡県仏教徒大会

○土井家ご法事

○山口・鈴木・足立・遠藤家ご法事

○影島家祥月

○芹沢・三嶋・前田家ご法事

○菊池家ご法事

○地藏講

○小針家ご法事

○名取・北条・鈴木家ご法事

○鈴木・相馬家ご法事

○松坂・長嶋・松田家ご法事

○藤井・渡辺・大杉家ご法事

七月

○道了講

○ペット新盆・盆供養会

○檀信徒新盆・施食会

○子ども食堂

1 日

3 日

5 日

7 日

8 日

11 日

14 日

15 日

17 日

19 日

21 日

22 日

28 日

29 日

1 日

5 日

6 日

○お棚経盆供養

○盆供養日(お寺)

○向笠家ご法事

○川上家ご法事

○鈴木・山田ご法事

八月

○村松・古賀家ご法事

○子ども食堂

○道了講

○お棚経盆供養

○盆供養日(お寺)

○園田・宮本家ご法事

○地藏講

○じぞう寄席 二つ目二人会

【三明寺やすらぎ大学】

○朝の勤行

○土曜写経会

○写経会

○日曜坐禅会

○ヨガ坐禅

○読経・御詠歌

12

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

今年の施食会と新盆供養について

―お塔婆供養をお願いします―

三明寺施食会、新盆会は、猛暑を考慮し、今年も屋外の行事は行いません。本堂内のみの読経となります。新盆様、ご先祖様のお塔婆供養のお申し込みをお願いします。

三明寺住職 合掌

【お知らせ】

□住職ラジオ法話

SBSラジオ

コースTFM

76.7

第4土曜日12時22分

月曜〜金曜7時30分

【編集後記】

▼やすらぎ霊園駿河入口道路が拡幅され入りやすくなりました。▼お墓のお塔婆は一年後、指定場所に移して下さい。鎮火祭で読経し焼納します。▼三明寺子ども食堂をはじめ四年目に入ります。その後、沼津は十件ほど増加しています。▼ヨガ坐禅が好評です。全国トップクラスの先生で特別価格ということかもしれません。是非お申し込みを！▼住職五十年、八十才を迎えます。八十の手習い。書道に時々通っています。

発行日 令和七年六月一日 第九十五号
編集人 (宗)曹洞宗大嶽山三明寺
住所 沼津市大岡三明寺四〇五一
電話 055・929・2323
FAX 055・929・2324
URL http://www.samyouji.com
メール info@samyouji.com



春彼岸会 3月20日 お塔婆をあげ、ご先祖様の供養・ペットの供養を行いました



終戦 80 周年平和祈念法要併修 梅花流全国奉詠大会

沖縄返還の日に開催されました 5月15日(木) 沖縄アリーナ



第140回 じぞう寄席 春風亭柳朝師匠 5月18日

次回141回 8/24 二つ目2人会

師匠を囲んで



どこにあるでしょう？
鳥の巣になっています



子ども食堂



ヨガと坐禅の会 5/26

三明寺開山忌報恩供養会 5月20日

開山忌とは、お寺を開かれた住職を顕彰し、法要を勤修し、歴代の僧侶を通じて感謝報恩の因縁を結ぶことです。曹洞宗として三明寺の御開山に元大本山總持寺貫首板橋興宗禅師を中興開山とし、慈父母を中興開基としました。また、平安時代の真言宗参明寺、臨済宗三明寺を再興護持された歴代の方々への報恩供養の法要を行いました。



御詠歌は近隣の寺族やスタンフォード大学准教授も参加協力



三明寺総代方々の挨拶



宗門の行持で最も格式の高い「十八拝差定(さじょう)」による法要を行いました



「万葉の湯」にて演奏



前宗清寺住職、兄の挨拶



住職 50 年の勤続表彰



ご参加された檀信徒の皆様



法要のお手伝いをいただいた近隣ご寺院の皆様